社会福祉法人
福岡いのちの電話
2026. 7. 1
166号
相談電話(092)741-4343　24時間年中無休

「人が社会的価値でなく存在そのものに価値がある社会へ」

福岡いのちの電話　前理事
尾家　満

「利他」、「なぜ人は追い込まれるほど助けてといえなくなるのか」、この２つの問いが、私が生きる意味になっています。

私は自死遺族の自助グループで、日常では話せない心の中を話すわかちあい、大切な人を亡くした子どもが気持ちを表現する子どものグリーフサポートのファシリテーター、自殺予防の活動を行っています。

活動の根源にあるものは私が自死遺族であることです。母は私を産む前から大きな病があり医師からも家族からも私を産むことは反対されましたが、私を産んでくれました。その後、病は悪くなっていき私が10歳くらいから鬱状態がひどくなり、私が11歳の時に自ら生命を断ちました。その後の環境変化の中で喪失の心の傷を癒すこともできないまま２次的、３次的、どんどん新たな喪失が重なっていきました。兄はその影響受けて高校３年生の頃から精神に支障をきたすようになり大学に入学しましたが、その時には日常生活も送れない程になり、精神神経科に入院しました。その後も入退院を繰り返しながら、回復につとめていましたが47歳の時に自ら生命を断ちました。

私は満たされない心を埋めるかのように社会人になって仕事にのめりこみ、休みを取らずに働き続ける生活をしていました。経営にかかわる業務をしていて業績があがる時はやり甲斐を感じられましたが、バブル崩壊、リーマンショック、コロナ禍と経済活動が停止すると弱い立場のものが犠牲になり企業を存続せざるをえない資本主義の負の側面に、自身の生い立ちが重なり資本主義で本当に人は幸せになるのかと疑問をもつようになり、仕事をする事がかえって自分の心の満たされない部分をどんどんえぐっていくような感覚になっていきました。

ありのままの自分、ありのままの自分でいられる場所、時間に生きづらさを感じている人がありのままの自分に気づくお手伝いがしたいと自身で会社を設立して、心と向き合うお宿「利他庵」をつくりました。

利他庵では対話を中心に誰もがありのままでいられる場になるように取り組みをしています。自殺予防の活動をしていて思うことは、困難を抱える前に援助希求能力を身につけることの大切さを感じます。誰でも相談することは大変勇気がいることです。自身で解決困難になればなるほど相談するハードルはどんどんあがっていきます。

日頃からまた子どもの早い時期に、権利があること、相談してもいいこと、話しを聴いてもらう成功体験をしておく事が大切だと思います。もっと大切なことは、生きづらさを感じる要因を減らしていくことだと感じます。

ありのままの自分でいていいと、自己肯定感をもってほしいと言うのは簡単ですが、今の社会で誰とも比べない自己肯定感を持てる人の方がマイノリティではないでしょうか。

人に社会的役割、社会の道具として価値を求めるのでなく、存在そのものに価値を求める社会になる必要があるのではないでしょうか。

生成AIは今後ますます進化を遂げていくでしょう。その時に多くの人が社会的役割をなくしていくのではないでしょうか。便利になることにより、自己肯定感や自分の存在価値を失い生きる価値を見出せない人が増える側面もあるかも知れません。役に立たなくていい、存在そのものを認めあう。それが１人も取り残されない社会だと思います。

そのような社会になることを願って活動を続けています。

2026（令和8）年度　事業計画

1．相談事業の充実

①電話相談

・24時間年中無休体制の円滑な維持のために十分な相談員数の確保に努める

・環境の整備を図り、より質の高いサービスを提供できるよう努力する

②インターネット相談

・インターネット対応の相談活動として、パソコンによるメール相談を継続する

③フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」への参加、実施（厚生労働省補助事業）

2．相談員の養成・研修とサポートシステムの充実

(1)　電話相談

①相談員の養成研修を実施

・第51期生の養成実施(2025年10月１日～2027年９月)

・第52期生の養成実施（2026年10月開講予定）

・電話相談員養成サポーターによる養成講座の運営補助

②相談員の活動更新のために

・全体研修（年４回）の実施

・フリーダイヤル研修（日本いのちの電話連盟）の実施

・グループ・スーパービジョン（８グループ年11回）の実施

③電話相談員養成サポーターの養成ならびに継続研修講座の実施

(2)　インターネット相談

①　相談員の養成研修

・ネット相談員養成を実施（日本いのちの電話連盟主催の養成講座）

②　相談員継続研修

・継続研修の実施

・インターネット相談運営委員会への参加（日本いのちの電話連盟主催）

(3)　その他の研修の推進

・自主研修会等の実施

・「ブラッシュアップ・リフレッシュ研修」の実施

・全国研修大会等への参加推進

(4)　相談員のケアシステムの充実

・相談員のケアカウンセリングの実施

・強いストレスを受けた相談員への個人スーパービジョン実施

3．広報活動のより一層の推進

①「福岡いのちの電話会報」の年４回発行

②福岡いのちの電話紹介リーフレットの発行

③事業報告書の発行

④新聞・テレビ等を通じての広報活動を実施

⑤ホームページによる広報

4．募金活動のより一層の推進

①安定した運営のために、資金確保に向けた募金活動を鋭意、推進する

②後援会組織を充実し、連携強化により組織の活性化を図る

・チャリティイベント等の開催

・事業ボランティア活動の充実

5．各種委員会の開催

理事会、評議員会、教育委員会、相談活動運営委員会などの各種委員会の定例的開催により、組織を充実させ民主的に運営する

6．会員相互の親睦と活動の活性化を図る

①福岡いのちの電話会員総会を開催

②内部広報誌「りーんりん」の随時発行

③班（曜日班、活動班）活動の充実、相談員集会等による相談員相互の交流促進

7．統計資料の整備充実

相談事業における統計資料を整備するとともに内容の精密な分析等を行う

8．他の相談機関等との連携

・他の電話相談機関、関連機関と緊密な連携に努め、社会資源資料の充実を図る

・関係機関会議への出席

9．自殺予防対策啓発事業の取り組み

・市民、地域に対し、自殺予防に対する関心を高め理解を深める事業を行う

①自殺予防公開講座の開催

②福岡県自殺対策啓発事業への参画

③福岡市自殺対策事業への参画

④企業、団体に向けたメンタルヘルス講座の開催

10．講師等の派遣

・支援団体等からの要請に応じ、卓話や講演などを行う

予算書

勘定科目				2026年度 当初予算(1)	2025年度 補正後予算(2)	増減 (3)=(1)-(2)	備　考
事業活動による収支	収入	電話相談関連事業収入		6,360,000	6,360,000		
			補助金事業(公費)	5,000,000	5,000,000		福岡市
			自殺防止事業	700,000	700,000		朝日厚生文化事業団、補助事業
			受講料事業	360,000	360,000		第51期生養成講座
			研修事業	300,000	300,000		SV料、宿泊研修
		寄付金収入		9,260,000	8,907,000	353,000	
			賛助会費	110,000	107,000	3,000	
			千人会費	1,900,000	1,850,000	50,000	
			法人会費	1,900,000	1,850,000	50,000	
			寄付金	4,300,000	4,000,000	300,000	
			共同募金	700,000	700,000		
			その他	350,000	400,000	△ 50,000	新聞社事業団
		受取利息配当金収入		100,000	10,000	90,000	
			受取利息	100,000	10,000	90,000	
		その他の収入		2,280,000	2,500,000	△ 220,000	
			雑収入	2,280,000	2,500,000	△ 220,000	
		事業活動収入計(1)		18,000,000	17,777,000	223,000	
	支出	人件費支出		4,595,000	4,590,000	5,000	
			職員給料	1,050,000	1,050,000		
			非常勤職員給与	3,500,000	3,500,000		
			法定福利費	45,000	40,000	5,000	社会保険･厚生年金･労働保険
		事業費支出		5,750,000	6,520,000	△ 770,000	
			電話相談事業	2,500,000			
			養成事業費	1,000,000			
			自殺防止事業費	700,000	700,000		
			水道光熱費	400,000			
			消耗器具備品費	50,000			
			賃借料	1,100,000			コピー機&PCリース料
		事務費支出		7,655,000	6,667,000	988,000	
			旅費交通費	50,000	10,000	40,000	
			事務消耗品費	550,000	550,000		
			研修研究費	10,000			
			諸会費	370,000			
			修繕費				
			通信運搬費	700,000	687,000	13,000	
			会議費	50,000	50,000		
			業務委託費	670,000	670,000		会計事務所･警備料　他
			広報費	1,000,000	1,250,000	△ 250,000	
			手数料	400,000		400,000	
			土地･建物賃借料	3,800,000	3,240,000	560,000	家賃･駐車料　値上げ
			租税公課	5,000		5,000	
			雑支出	50,000	10,000	40,000	
		事業活動支出計(2)		18,000,000	17,777,000	223,000	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)						
施設設備等による収支	収入	固定資産売却収入					
		その他の収入					
		施設設備等収入計(4)					
	支出	固定資産取得支出					
		その他の支出					
		施設設備等支出計(5)					
	施設設備等資金収支差額(6)=(4)-(5)						
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入					
		その他の収入					
		その他の活動収入計(7)					
	支出	積立資産支出					
		その他の支出					
		その他の活動支出計(8)					
	その他の活動資金収支差額(9)=(8)-(7)						
予備費支出(10)				500,000	500,000		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)				△ 500,000	△ 500,000		
前期末支払資金残高(12)				5,495,388	5,641,547	△ 146,159	
当期末支払資金残高(11)+(12)				4,995,388	5,141,547	△ 146,159	

(注)2026年度から支出に係る勘定科目を変更したため、2025年度予算は、人件費支出、事業費支出及び事務費支出の計、また、変更のない勘定科目のみ計上した。

社会福祉法人福岡いのちの電話　理事・評議員・監事名簿

理事長	久保　千春	（中村学園大学学長、医師）
副理事長	濱生　正直	（学校法人九州聖公学園理事長、牧師）
常務理事	楯林　英晴	（福岡県精神保健福祉センター所長、医師）
理　事	谷村　和夫	（司法書士法人谷村事務所、司法書士）
〃	林　覚竜	（南蔵院副住職）
〃	瀬里　徳子	（母子生活支援施設百道寮施設長、公認心理師、臨床心理士）
〃	川嵜　弘詔	（天神診療クリニック内脳科学・精神医療総合研究所所長、医師）
〃	金子　周平	（九州大学大学院准教授、公認心理師、臨床心理士）
〃	石井　宏典	（西部ガスホールディングス株式会社　執行役員人財戦略部長）
〃	長谷川　彰	（株式会社西日本新聞社編集局社会部　編集委員）
〃	伊東　望	（相談活動運営委員会　委員長）
〃	吉野　佳子	（岩城法律事務所　弁護士）
評議員	衛藤　暢明	（福岡大学医学部講師、医師）
〃	本山　智敬	（福岡大学人文学部教授）
〃	大野　道雄	（徳栄寺　住職）
〃	園田　紀子	（福岡市保健医療局健康医療部長、医師）
〃	繁田　公志	（しげた消化器・外科クリニック院長、医師）
〃	宮川　有希	（福岡市市民局男女共同参画部長）
〃	見元伊津子	（医療法人同仁会　乙金病院理事長、医師）
評議員	河邉　哲司	（株式会社久原本家グループ本社 代表取締役社長）
〃	川谷　秀紀	（株式会社西日本新聞社　報道センター部長）
〃	古藤　孝子	（福岡市社会福祉協議会事務局長）
〃	石松　美恵	（福岡市中央区民生委員児童委員協議会会長）
〃	才藤千津子	（西南学院大学教授、臨床心理士）
〃	中村　有希	（福岡市こども総合センター所長）
〃	川口　貴子	（福岡市精神保健福祉センター所長、医師）
〃	隈井　理絵	（福岡県私学振興・青少年育成局青少年育成課）
〃	執行　好子	（事業ボランティア代表）
〃	浅田　詩子	（ボランティア代表）
〃	谷口　尚明	（ボランティア代表）
〃	井元　忍	（ボランティア代表）
監　事	権藤　説子	（税理士）
〃	吉野　正	（吉野・宮下法律事務所、弁護士）
顧　問	中川　哲也	（元理事長、医師）
〃	林　覚乗	（元副理事長、南蔵院住職）
〃	河邉　正一	（前事務局長）
事務局長	金子　英次	

（敬称略　2026年6月29日現在）

福岡いのちの電話
ボランティア募集

〈現在募集中です〉

募集内容はネット上で見ることができます。
下記のURLにアクセスしてください。
http://www.f-inochi.org/bosyu.html

福岡城東ライオンズクラブ45周年記念式典

福岡城東ライオンズクラブの45周年記念式典が4月9日にホテルオークラで開催され、ご寄附を濱生副理事長が頂戴しました。開局してからの42年もの長きにわたり継続して支えてくださっており、感謝申し上げます。

恒例

恒例　酷暑を笑い飛ばす「里帰り納涼寄席」

8月1日（土）ふくふくプラザホールにて恒例となっています「里帰り納涼寄席」を開催します。今回は、福岡県人隊（写真左から笑福亭風喬、桂三四郎、笑福亭呂好）の御三方です。

皆様の参加をお待ちしております。参加ご希望の方は事務局までご連絡ください。

2026年度　第1回 全体研修
「スーパービジョン」

5月20日（水）午後18時30分から、九州キリスト教会館の4階ホールで、2026年度第1回全体研修（フリーダイヤル研修を兼ねる）を開催しました。参加者は52名でした。

福岡いのちの電話の教育委員長松尾公孝氏が「スーパービジョン」の目的等について説明をされました。次いで、相談活動運営委員会が行ったスーパービジョンに関するアンケートの結果について、尾家前委員長から、毎年度スーパーバイザーが交替することについて71％が適当とした結果や「多様な学びと継続的な支援をどのように両立するか」などの主要な項目について説明がありました。

その後、7～8名のグループにわかれ、「自分の推し」を含めた自己紹介後、スーパービジョンで良かったこと、困った体験などの意見交換で、スーパービジョンに対する各自の思いを語りました。

＜研修参加者の感想（研修アンケートから抜粋）＞

- SVがどうあるべきか、皆さんの意見がひとつひとつ刺激になりました。SVによって、相談員が納得できる成長を感じられるといいと思いました。それは思いを吐き出すこと、医学的知識を得ること、対応力のテクニカルなことを学ぶこと、様々あると思います。全てを求めることはむずかしいとしても、学びの場となって欲しいと思います
- SVに録音を取り入れたいと話をしたら、ベテランのお二人は反対だと。その意見を聞けたのは良かった。自分とは違うけど理解はできた。
- 皆さんがSVについて満足していない様子が伝わりました。「私もそう思っていた」ということが多々あったので、グループワーク自体が良いものだったと思います。せっかくスーパーバイザーの先生に来ていただいているのに通り一遍の誉め言葉（「丁寧に聴けましたね」など）は必要もなく、もっと専門的かつ向上的なアドバイスがいただける方がいいです。相談員同士の「分かち合い」と先生のアドバイスは区別した方が効率的だし、有用だと思います。

- 今回初めて参加しましたが、お会いしたことがない方ともフランクに話ができたのは良かったです
  先生が一年で変わることは、アドバイス等が違った意見をもらえて色々な先生の学びが受けられて素晴らしいと思います。
- ZOOMなどのアプリを使用したリモートでSVに出たい人のためのZOOMの会があってもいいかも
- SVを活性化するためにどうしたらいいか、色々な意見がありました。それぞれの意見を出せて良かった。ＳＶは大切なもの、相談員の気づき、成長につながる学びの場であることを再確認しました。話せる場があることが良いなと思います
  SVは、自分の成長につながることがはっきりわかった。それがコーラーへの対応、受容、共感、傾聴へとつながること。事例発表だけでなく、参加する意義があること

（注）スーパービジョンをSVと略します

イオン黄色いレシートキャンペーンの贈呈式

事業ボランティア会が毎月11日にイオン香椎浜店で参加している「イオン黄色いレシートキャンペーン※」の贈呈式が４月２１日開催され、吉田店長からイオンカード（66,500円分）が中村事業ボランティアに贈呈されました。

※11日のみ発行される黄色いレシートを参加団体の箱に入れると、レシート年間総額の1％が団体に還元される仕組み

ご援助ありがとうございます

寄附感謝報告　2026年3月1日～2026年5月31日（敬称略・受付順）

上記の期間に次の方々からご支援を賜りました。感謝をもってご報告させていただきます。

＊このご寄附には所得税，県・市民税に関して寄附金控除が適用されます。
また，福岡市個人市民税の寄附税額控除が受けられます。

千人会

杉本　登(杉本歯科医院)	10,000
船越睦子	10,000
吉開泰信	20,000
加来一太郎	10,000
原　経博	10,000
若杉山文殊院　髙瀬覚照	10,000
生田　潔	10,000
山口雅子	10,000
髙宮紘士	10,000
合屋四郎	10,000
株式会社　九食	10,000
山川信夫	10,000
萬年浩雄	10,000
岩永安弘	10,000
井上仁人((医)井上内科医院)	10,000
岡田修一	10,000
吉野　正	10,000
太田　良	10,000
吉田黎子	10,000
佐藤　勉	10,000
(有)吉塚酒店	10,000
乙藤秀臣	10,000
佐野百合子	10,000
金藤哲明(金藤歯科医院)	10,000
髙宮義臣 ((医)高宮外科内科医院)	10,000
木上勝征	10,000
山手誠之助	10,000
繁田公志 (しげた消化器科･外科医院)	10,000
大西純一 (内科小児科　大西医院)	10,000
住吉康平(住吉クリニック)	10,000
株式会社　丸屋	10,000
高崎好生	10,000
松本一郎 ((医)松本小児科医院)	10,000
太田輝幸	10,000
佐藤隆昭(成道寺)	10,000
宇都宮英人 (宇都宮法律事務所)	10,000
山口祐司 ((医)GSGL会　福岡浦添クリニック)	10,000
梅野英輔 ((医)梅野小児科内科医院)	10,000
村上信子	10,000
権藤説子	10,000
見元伊津子	10,000
(医)同仁会　乙金病院	10,000
安武清勝	10,000
松﨑佳子	10,000
吉﨑謙作	10,000
髙倉治雄	10,000
(医)白翠園 春日病院(武田誠司)	10,000
吉野みえ子	10,000
長門博之	10,000
髙岸智也 ((医)髙岸小児科医院)	10,000
(医)つくし会病院	10,000
穴井元昭	10,000
山名敏子 ((医)山名としこ眼科)	10,000
川谷大治 ((医)寛仁会　川谷医院)	20,000
大村重成 ((医)緑心会　福岡保養院)	10,000
(医)高口歯科医院	10,000
岡多恵子	10,000
仲吉則雄 (なかよし眼科クリニック)	10,000
東長寺	10,000
大串秀明 ((医)大串クリニック)	10,000
西岡雄二 ((医)社団　昭和会西岡病院)	10,000
中島昌子	10,000
藤見　是 ((医)藤見胃腸科内科医院)	10,000
真正寺	10,000
藤川尚宏 ((医)遊行会　藤川メディカルクリニック)	10,000
川原　健	10,000
佐藤好史	10,000
荒木靖邦 (あらきファミリー歯科)	10,000
安藤　寛 ((医)あんどう小児科医院)	10,000

一般寄附

小野久美子	10,000
磯貝希久子	20,000
FIND27期	1,000

福岡女学院教会	5,000
田中幸彦	4,000
福岡いのちの電話　後援会	200,000
福岡いのちの電話　事業ボランティア会	200,000
吉澤みか（子ども大学だざいふ・ふくおか　理事長）	10,000
金子英次	50,000
緒方鳳儀	5,000
Choy Kin Chung	5,000
青木　悟	3,000
林　一美	20,000
杉本　登	5,000
糸島どんたくふぇす実行委員会（福岡スポーツクラブZ）	14,052
田中幸彦	1,000
山下奈保美	10,000
吉村松子	20,000

助成金

大久保尚子	5,000
井上眞知子	10,000
正田美加	3,000
中村　正	6,000
西宗寺	10,000
原田元子	2,000
江口祐子	10,000
田久保明典	6,000
東端啓子	5,000

法人会

（医）盛和会　神代医院	30,000
（医）心和堂　後藤クリニック	30,000
株式会社愛しとーと	30,000
九州八重洲株式会社	30,000
ジャパン福岡ペプシコーラ販売株式会社	30,000
株式会社ふくや	50,000
株式会社サイブモーターズ	30,000
一般社団法人福岡市医師会	30,000
越智産業株式会社	30,000
株式会社　新出光	100,000
KBCグループホールディングス株式会社	60,000
西日本技術開発株式会社	30,000
九州石井運輸株式会社	30,000
アサヒビール株式会社福岡支店	30,000
リンナイ株式会社九州支社	30,000

助成金

（公財）毎日新聞西部社会事業団	100,000

支援自販機募金

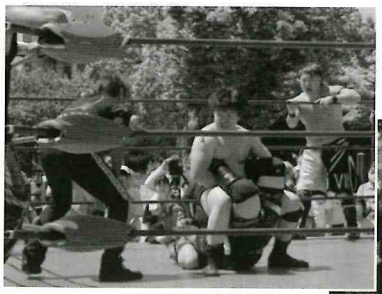
（財）恵愛団（九州大学病院内）	80,115
西部ガスホールディングス㈱（パピヨン24内）	25,050
西部ガスホールディングス㈱（油山研修所内）	1,070
西部ガス都市開発㈱（サンテ飯倉内）	1,514
西部ガス都市開発㈱（ニシコー千代ビル内）	9,405
㈲ダイキ通信工業（自社内）	13,362
㈱西日本新聞社（本社）	33,407
㈱西日本新聞プロダクツ（製作センター）	11,936
福岡県弁護士会（福岡県弁護士会館内）	5,915
JFEパイプライン㈱（自社内）	1,460
九州電力㈱（電気ビル新館8階）	4,855

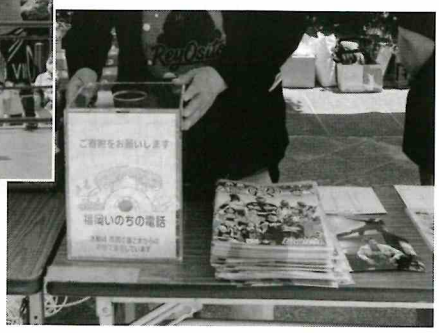
チャリティー行事

5月10日(日)、糸島市で催されたプロレスイベント「糸島どんたくふぇす」実行委員会のご厚意で、会場に募金箱を置かせていただきました。

おかげさまで観戦のみなさまや関係者の方々から、たくさんの寄付が集まり、電話相談ボランティア募集のチラシなどをお渡しすることもできました。

福岡スポーツクラブZさんをはじめ実行委のみなさま、本当に感謝です！





INFORMATION
インフォメーション

日誌　2026.3.1～2026.5.31

3月
- 4　相談活動運営委員会
  第51期養成講座
  （講師：松崎佳子氏）
- 7　リフレッシュ研修
  （講師：瀬里徳子氏）
- 10　フリーダイヤル
  「自殺予防いのちの電話」
- 11　事業ボランティア「イオン黄色いレシートキャンペーン」参加
  受信資料検討班会
- 13　第12回教育委員会
  拡大教育委員会
  自主研修「もみじの会」
- 14　社会資源研究班会
- 18　第51期養成講座
  （講師：松尾公孝氏）
  事務局会議
- 24　事業ボランティア「手づくり会」
- 25　第12回理事会
- 31　第2回スーパーバイザー会

4月
- 1　第51期養成講座（演習①）
- 7　広報活動班会
- 8　相談活動運営委員会
- 9　福岡城東ライオンズクラブ45周年記念式典（濱生副理事長）
- 10　フリーダイヤル
  「自殺予防いのちの電話」
- 11　事業ボランティア「イオン黄色いレシートキャンペーン」参加
- 12　研修運営班会
- 14　社会資源活動班会
- 15　第51期養成講座
  （講師：福盛英明氏）
- 21　イオン黄色いレシートキャンペーンの贈呈式（イオン香椎浜）
- 22　第1回教育委員会
  世話人会
  事務局会議
  受信資料検討班会
  研修運営班会
- 23　第1回理事会
- 25　自主研修CI研
- 28　事業ボランティア「手づくり会」
  事業ボランティア例会
  社会資源活動班会
- 29　第51期養成講座（演習②）

5月
- 10　フリーダイヤル
  「自殺予防いのちの電話」
- 11　事業ボランティア「イオン黄色いレシートキャンペーン」参加
- 12　内部監査
  事業ボランティア「手づくり会」
- 13　第51期生養成講座
  （講師：川谷大治氏）
  受信資料検討班会
- 14　相談活動運営委員会
- 20　第1回全体研修
  自主研修「もみじの会」
  社会資源研究班会
- 21　評議員選任解任委員会
- 26　事業ボランティア「手づくり会」
- 27　第51期養成講座（演習③）
  第2回教育委員会
- 28　第2回理事会
  事務局会議

編集後記

私たちは日々の生活の中で、知らず知らずのうちに「何ができるか」「どれだけ役に立つか」という社会的な価値によって、自分や他者を見てしまうことがあります。しかし、人のいのちの重さは、能力や成果によって決まるものではなく、ただ存在していること、そのものにあるのではないでしょうか。

苦しみの中にいる人ほど、「助けてほしい」と声をあげることが難しくなることがあります。悩みを抱えながらも、周囲への遠慮や、自分で解決しなければならないという思いから、一人で耐え続けてしまうことがあるのではないでしょうか。

いのちの電話の活動は、そんな心の奥にある声に耳を傾ける働きです。問題をすぐに解決することだけが支援ではないと思います。誰かが自分の痛みを聴いてくれること、ありのままの自分を受け止めてもらえることが、生きる力につながるのではないでしょうか。

便利さや効率が求められる時代だからこそ、互いの存在を大切にし、「あなたはあなたのままで大切な存在です」と伝えあえる社会になることを願います。

一本の電話の向こうにある小さな命の声を、これからも大切に受け止めていきたいと思います。

（N.M）

電話受付件数

2026年3月～2026年5月

受付件数	2,929件
延べ相談員数	893人
延べ受信時間	92,830分

発行所
〒810-0073 福岡市中央区舞鶴2-7-7
社会福祉法人　福岡いのちの電話
TEL (092)713-4343・FAX (092)721-4343
ホームページアドレス
http://www.f-inochi.org/
発行人　久保　千春
編　集　広報活動班

この「会報」は共同募金の配分金で作成しています。